
編集後記

朝永振一郎著の「プロメテウスの火」(江沢 洋編 み
すず書房 2012 年)に、「(原子力のような)人には制御で
きない強力で影響の大きいものが出てくる要素を自然科学
がもっている」ということを、文明のまだ殆んどなかった
時代の昔の人は考えたという紹介がありました。

それが、ギリシャ神話の「プロメテウスの神話」です。
プロメテウスと兄弟の神エピメテウスが、様々な生き物を
創り各々の生き物に足が速いなど特長を与えて行った。し
かし、既に様々な能力をいろんな動物に与えてしまって、
最後に創った人間には与えるものが何もなくなった。牙も
角も毛皮もすべて他の生き物のために使ってしまう、この
ままでは人間は、他の生き物に襲われてしまう。そこで、
弟のプロメテウスは、「天の火」を盗んで人間に与えた。
ということでした。

重要なのはそのあとで、「それをゼウスが知って大変怒
り、プロメテウスに永遠の罰を与えた」ということです。「火
(科学)を使うことを人間に与えたプロメテウスがこれほ

どの罰を受けた」ということは、科学への恐れを、文明が
まだ殆んどなかった時代に、人々が感じていたということ
の現れではないでしょうか。

科学・技術に警鐘を鳴らし評論だけで終わるのではなく、
実際に社会に貢献するというのが、私たちの使命でしょ
う。幸いにして、超音波は安全基準内で用いていれば非侵
襲です。ただ、最近の人工知能の発達は、今後も手放しに
しておいて良い程、影響が小さいとは言えないようです。
これらのことは、私たちが研究開発を進める上で、常に頭
の片隅には入れておくべきことでしょうし、一般に広く科
学・技術について、その専門家だけに任せず、一人一人が
常に考えて行かなければならないことと思います。

金井 浩

東北大学大学院工学研究科電子工学専攻
／医工学研究科医工学専攻

謝辞

2015 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日の間に、査読委員外で論文
査読を行って頂きました先生方に感謝の意を表し、以下に御氏名
を記載致します。

奥野 敏隆, 後藤 英之, 小室 薫, 嶋 洋明, 鈴木 真事,
関口 隆三, 瀬戸 洋平, 谷 知子, 古川まどか

(50 音順)

超音波医学

Japanese Journal of

Medical Ultrasonics

第 43 巻 第 6 号 (通巻第 296 号)

© The Japan Society of Ultrasonics in Medicine

—禁転載—

本体価格 2,000 円 + 税 (本誌購読料は会費に含まれます。)

平成 28 年 11 月 15 日発行

編集者 公益社団法人日本超音波医学会編集委員会 委員長 金井 浩

発行者 公益社団法人日本超音波医学会 理事長 工藤 正俊

〒 101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-23-1

お茶の水センタービル 6 階

TEL 03-6380-3711

FAX 03-5297-3744

印刷所 大村印刷株式会社